

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表 R5年 3月 7日

事業所名 第二ピュアこだま

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2	職員の配置数は適切である	○			利用者様の人数や特性によっては、さらに職員の配置が必要だと感じることがあります。活動の設定や、環境作りを工夫しながら、支援に不足が起こらないようにしていきます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		手すりへの誘導等、安全の確保に配慮しています。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		ケース会議を行い、職員全員で目標設定や振り返りをしています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者様のご意見を、職員に周知しています。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		今後、外部評価を行う際は、管理者と相談していきます。
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			オンラインで研修が行われることによって、研修会に参加することができました。(研修になかなか出られなかった職員も受けることができました)
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		職員で話し合いながら、活動設定しています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		個別・集団での活動を設定しています。	利用者様が、楽しみながら、体を動かしたり、機能訓練につながるよう配慮しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		季節やイベントに合わせた活動も設定しています。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			その日の振り返りが難しい状況であった場合は、翌日に共有したり、話し合うようにしています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		特記事項の欄を設けて、記録するようにしています。また、別紙にて、行動記録を作成しています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	○			職員にガイドラインの総則を周知していきます。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		保護者様に情報共有の許可を受けています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		医療的ケアが必要な利用者様の受け入れが難しいです。

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○	事業所の見学の受け入れをしています。相談支援員に見学の受け入れの周知をしています。	調整会議やケース会議などが行われる際は、参加していきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○	相談支援員を介して、情報提供・情報共有をしています。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		コロナ禍のため、難しかったです。今後、交流の機会を作る際は、保護者様や管理者と相談する必要があります。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○	連絡帳を準備し、活動や様子をお知らせしています。体調の急変等については、お電話やメールで緊急連絡をする場合もあります。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○	必要な場合に、保護者様とお話する場を設けて、対応させていただくことがあります。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○	必要な際は、保護者様とお話する場を設けています。また、相談支援員の方に情報共有することもあります。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		父母の会や保護者会はないため、今後、ご要望をいただいた際は、管理者と相談の上、検討していく必要があります。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○	毎月、「第二ビュアこども新聞」を発行しています。	
	35	個人情報に十分注意している	○	契約・アセスメントの際に個人情報について保護者様より、承諾書をお願いしています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○	管理者が地域の自治体に参加しています。	コロナ禍のため、地域での活動が難しかったです。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○	毎月実施しています。防災頭巾のかぶり方等も練習しています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○	法人で虐待防止委員会を設置しています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		現在、やむを得ず身体拘束を必要とするケースがありません。対応が必要な際は、保護者様に状況を伝え、了承をいただいた上で個別支援計画に記載していきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○	アセスメントの際にアレルギーの有無を確認しています。	現在、食物アレルギーの対応が必要な利用者様いません。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		

